

令和7年度 高山市立松倉中学校 経営構想 (Ver 2)

【学校の教育目標】

人間性豊かで
たくましく生き抜く生徒

【育てたい資質能力】

対話を駆使して
考えを深める力

◎高山市小・中学校教育の方針と重点

【方針】未来社会を創造する資質・能力を身に付け
学び続ける子の育成

【重点】自分らしく、一歩踏み出し
のり越え、挑戦し続ける子

地域の個性

○コミュニティスクール
「地域と共にある学校」

○地域の財産（自然・文化）

「松倉城、飛騨の里、乗鞍ビュー、さるぼぼ
友好の丘（デンバー公園）等」

本校の生徒の「強み・弱み」

強み...「大規模校がゆえの個性の多様性」
「新宮小出身と南小出身同数程度勢力による
刺激 & 花里小・西小の文化の刺激」
「生徒の明るさ、はつらつさ」

弱み...「レジリエンスの低さ」
「自己表出する力が乏しい」
「自ら学ぶ姿勢の個人差が大きい」
「先を読む力が弱い」

資質能力を高めるために、生徒・教職員が大切にする言葉

“Agency” 《変化を起こすために自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する》

【R7年度の重点目標】

- 「学校に勢いをつけ、誇りを持たせる活動」の醸成
- 「考えを深める力」が高まる“対話づくり”
- 一人一人の“居場所づくり”と不登校対応の充実
- 指定校事業による食育推進
- 縦割り活動を生かした“人間関係づくり”
- 教職員が育つ学校づくり
- 卒業生全員が同じ時・同じ空間での卒業式



「チーム松倉」の指導の構え

- ・全校生徒379人を全職員で見守り、育てる
- ・「変化」を恐れず、「進化」を追求する
- ・とにかく“やってみる”ダメなら“やめる”
- ・自分で、自分たちで「求めさせる」「考えさせる」「こたえを出させる」「実行させる」「責任をもたせる」という営みに徹する

支え合い、磨き合う「チーム松倉」

- ・組織を生かした日常的な連携
(管理職⇄主任層 主任層⇄若手 ※管理職⇄若手)
- ・即時性のある連携
- ・鍛え合う集団(若手のびのび、ベテランがっちり)
- ・教頭を核とした「働き方改革」と「日常的なコン